



キャッチ・イン・ザ

-The Catch in the Book

ブック

girl

キャッチ・イン・ザ・ブック

あなたは高校の教師だとします。お気に入りの本を見つけました。誰かに薦めたい。

さて、誰に貸しますか？家族？同僚？それとも・・・？

ある教師は、内気な生徒に手渡したのです。

って書くとまわりくどいけど、つまり国語担当・I先生が私に一冊の本を貸してくれた。

それはJ.D.サリンジャー著・村上春樹訳の『キャッチャー・イン・ザ・ライ』。当時発売されたばかりの人気作だった。

正直渡されたときは「ん？なんで？」と不思議だった。教師と仲良くできるようなアクティブなほうじゃない。本の話さえしてないはず。

でも！よくわかんないけど！先生に認めてもらったようでうれしい！それにこの話おもしろい！なんじゃこりゃ！

あっという間に引き込まれ、春樹ファンになり翻訳家という仕事に興味を持ちはじめた。なんて単純。

それから大学に入ったけど、このふたつを学ぶために行ったようなものだ。

初めて書いた小論文は村上さんがテーマ。英語を専攻し、外国文学についてもいろいろと知った。『The Catcher in the Rye』（原文）を下手ながら一生けんめい訳したり、出版されているものと比べたりした。今も村上さんの本は集めてるし、翻訳家目指してる。なんておめでたい。

I先生、覚えてますか。

先生のおかげで人生の軸が見つかったよ。ありがとう。

ちなみに塾講師のバイトしてたんだけど、生徒に貸した本は返ってこなかったです。

あの子も、本の中で何かを見つけられたならいいな。

キャッチ・イン・ザ・ブック

<http://p.booklog.jp/book/48144>

著者 : air1

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/air1/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/48144>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/48144>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.